

2018年11月22日

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院消化器内科に、潰瘍性大腸炎で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

メサラジン製剤のみでは寛解維持できない潰瘍性大腸炎に対するサラゾピリン、チオプリン製剤の有効性に関する後ろ向き観察研究

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学内科学第2講座 講師 吉田岳市

#### 3. 研究の目的

メサラジン製剤のみでは寛解維持ができない場合に、ステロイドを用いずにサラゾピリンとチオプリン製剤だけでどの程度寛解維持をできるかについて明らかにする研究です。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎の患者さんで、平成22年1月1日から平成29年12月31日までの期間中に、第2内科で治療を受けた方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、治療に用いた薬剤、内視鏡に関する情報です。

##### (3) 方法

ステロイドを用いずに寛解維持を達成できた割合を算出し、治療に用いた薬剤の有効性について検討します。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学内科学第2講座 担当医師 高尾 政輝

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-445-3616

E-mail : ninai@wakayama-med.ac.jp